



スポーツで築く地域活力創造計画



SPORT IN LIFE

Sports × 新城

Miyakonojo-city sports promotion plan 2023.4-2028.3

概要版



はじめに

令和2年1月に日本国内で初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、市民生活や地域経済に大きな影響をもたらし、特にスポーツにおいては基本的な感染対策として推奨された密閉・密集・密接の回避が困難であることから、多くの人々の日常から機会が失われることとなりました。

しかし、日常生活からスポーツが失われた結果、スポーツが単に健康の維持・増進だけに留まらず、地域の交流や活力の創造をはじめ、スポーツ観戦による経済的な活性化など、幅広い分野に影響が波及することを、改めて認識することとなりました。

本県では、令和9年に「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会」の開催が予定されており、本市においても正式競技等の実施が内定したほか、新たな県陸上競技場の建設及び都城運動公園の整備が進められています。

本市はこれを好機と捉え、スポーツ団体や観光・経済関係団体をはじめとする様々な機関と連携し、スポーツによる地域活性化について戦略的に取り組むため、令和4年4月に「一般社団法人都市スポーツコミッション」を設立しました。

また、市内の運動公園等のスポーツ施設における市民利用やスポーツ合宿での利用者数は、コロナ禍以前は健康志向の高まりを背景に増加傾向を示していました。そして現在、アフターコロナへの移行に伴い、多くの個人・団体が徐々に、以前のスポーツ活動状況を取り戻しつつあります。加えて、市内でもプロ野球やプロサッカーチームのスポーツキャンプが開催されるなど、これまでになくスポーツ推進の気運が高まっています。



都城市市長
池田 宜永
Mayor of Miyakonojo
Takahisa IKEDA

本計画は、これらスポーツ推進の気運を一過性のものとしなため、スポーツ施設や国スポ大会・障スポ大会終了後のレガシー（＝遺産）を活かす方策を検討するとともに、従来のスポーツ振興施策に、観光、スポーツ合宿等による地域活性化や心身の健康維持・増進のためのスポーツを、より身近なものとして取り組めるよう新たな視点を加え、本市スポーツ行政の方向性を位置付けたものです。

今後は、スポーツをきっかけとした来訪者の増加、スポーツと他の分野の連携による新たな事業の創出や市民総スポーツによる健康都市を目指し、官民一体となって取り組んでまいりますので、市民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、御協力いただきました都市スポーツ推進審議会の皆様をはじめ、アンケート調査やヒアリング調査などを通じて御意見をいただきました市民の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和5年4月

1. 計画策定の趣旨

令和9年の第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ大会」という。）・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ大会」という。）における本市での正式競技等の開催の内定や、（仮称）新宮崎県陸上競技場の建設、「一般社団法人都市スポーツコミッション」（以下「MSC」という。）の設立など、本市におけるスポーツを取り巻く情勢が変化しています。

これまで取り組んできた競技力向上や生涯スポーツ振興、健康増進などの事業展開を行う「インナー戦略」に加えて、外からの交流人口を拡大するため、スポーツキャンプ・合宿の誘致やスポーツイベント等の誘致・開催など、地域を活性化し「地域が潤う」という視点から「アウトター戦略」を強化する必要があります。

本計画は、従来の都市教育振興基本計画で取り組んできた教育に根差したスポーツ振興施策に、観光やツーリズム、健康、デジタル化などの新たな視点を加えて策定するものです。

2. 本市における「スポーツ」の定義

本市ではスポーツを、それぞれの適性や志向に応じ

て、自由に取り組み、楽しむものであると定義します。併せて、スポーツを「みる（観戦する）」ことや、スポーツ大会やイベントを「ささえる（ボランティア）」活動など、自発的に行う様々な身体活動もスポーツに含まれます。

3. 本計画の位置づけ

「スポーツ基本法」（平成23年法律第78号）第10条第1項に規定される「地方スポーツ推進計画」と位置づけ、市政運営の指針である「第2次都市総合計画第2期総合戦略」（令和4年4月策定）を上位計画とし、「第2次都市スポーツ施設整備ビジョン」（平成30年9月策定）及び「都市教育振興基本計画」（令和4年改定）との連携・整合を図ります。

4. 計画の期間

令和5年度から令和9年度

5. SDGsとの連携

本計画における基本的な取組の方向性と、SDGs^{*} 17のゴールとの関連付けを明確にし、スポーツの価値向上と地域活性化を推進します。

SDGsの目指す17のゴール



* SDGs…Sustainable Development Goals の頭文字をとったものであり、平成27年9月の国連サミットで採択された「地球上の全ての人々が幸せになるように誰もが協力して実現していく目標」のこと。

1. 国及び県におけるスポーツを取り巻く情勢

東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)の開催を経て、国は「第3期スポーツ基本計画」(令和4年3月)を策定し、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と絆の強い社会を目指すこととしています。また、宮崎県においても、国スポ大会・障スポ大会の宮崎開催を踏まえ、「次期スポーツ推進計画」策定を検討しています。

2. 本市の現状

(1)「人」×スポーツの現状

本市の総人口は、平成7年から減少に転じ、現在まで緩やかな人口減少が続いています。一方で65歳以上の老年人口割合は年々増加しています。また、本市では、スポーツを通して市民の心身の健全な発達、健康の維持・増進を図ることを目的に、都城市スポーツ協会や都城市スポーツ推進委員、MSC等多様な団体や個人が活動しています。

【市民アンケート結果】

■スポーツを「する」

週に1日以上運動やスポーツを行っている割合は46.7%で、健康管理・体力づくりを目的として、ウォーキングや体操・ストレッチ・ヨガなどの、場所や人数に影響されない運動・スポーツを行う人が多い傾向となっています。自身の運動・スポーツの実施頻度に満足しているかどうかの調査では、小中学生及び成人両方において半数以上が、「運動・スポーツをもっとしたい」と回答しています。

■スポーツを「みる」

スポーツの観戦状況は、成人・小中学生ともに「野球」「サッカー」のプロスポーツ・トップスポーツ観戦(テレビや練習観戦含む)が多くなっています。また、プロスポーツ・トップスポーツを会場で観戦したいと回答した人は、成人で約7割、小中学生でも約6割を占め、その多くが市内での観戦を期待しています。

■スポーツを「ささえる」

スポーツボランティアへの取組経験のある市民は、全体の14%に留まっていますが、興味のある人は39%にのぼっています。また、障がい者スポーツについての調査では、「関わったことがない」と回答した人が約9割を占めています。

(2)「観光」×スポーツの現状

本市の特性を活かしたPR戦略等により、観光客数は令和元年度には169万人にのぼっていましたが、この数年は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を大きく受け、減少しています。

本市は、年平均気温17.5℃の穏やかな気候で、フルシーズンでスポーツや観光に適しており、農林畜産業も盛んなため豊富な食材を楽しむこともできます。本市のPR戦略では、「肉と焼酎」に特化した施策を進め、ふるさと納税日本一も獲得しました。

(3)「施設」×スポーツの現状

本市には「都城運動公園」「早水公園体育文化センター」「山之口運動公園」「高城運動公園」「山田運動公園」「高崎総合公園」の6つのスポーツ拠点施設のほか、各地区体育館や市民広場、学校体育施設開放事業による体育施設及び関連施設があります。

3. 本市の現状からみた課題

- ・人口減少や少子高齢化の影響
- ・スポーツによる地域振興
- ・ライフスタイルの多様化
- ・新型コロナウイルス感染症に伴うスポーツ活動の変化
- ・子どもの体力状況の低下
- ・高齢者を取り巻く課題
- ・国スポ大会・障スポ大会をはじめとする全国大会等に向けた競技力の向上
- ・スポーツ分野におけるデジタル化推進

●都城運動公園 完成イメージ図



●山之口運動公園 完成イメージ図



●基本目標



1. 基本目標

本市では、これまでの取組に観光や自然、伝統・文化などの地域資源とスポーツを融合させ、スポーツによる地域活性化を図るとともに、市民一人ひとりがス

ポーツを楽しみ、喜びを感じながら「する」「みる」「ささえる」スポーツに取り組み、生涯にわたって心身ともに健康で活力ある生活を営めるよう、「スポーツで築く地域活力のあるまち都城」を目指します。

●計画の目標値

基本目標	重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3年度)	目標値 (R9年度)
1. スポーツによる地域振興	スポーツ合宿の誘致件数	85団体	230団体
2. スポーツを日常の感覚に	企業と連携した健康教室等スポーツイベントの実施	—	5団体
3. 生涯スポーツの振興	運動・スポーツを週1回以上行っている割合	43%	61.9%
4. 競技スポーツの推進	各競技におけるトップレベルの指導者による実技講習受講者	107人	480人
5. スポーツのための環境整備	オンライン上でのスポーツ施設予約システム体制の構築	—	60.4%

2. 連携推進体制

本計画の目標を達成するためには、市とMSCが要となり、スポーツ関係者だけでなく、観光関連団体や経済産業団体のほか地域コミュニティ、地元企業、保

健・医療関係機関など多様な主体と相互に連携・協働していく必要があります。

また、スポーツは保健・福祉・教育・観光など多様な分野と密接に関わっていることから全庁的な協力体制のもと、総合的・効果的に計画の推進を図ります。

基本目標	基本施策	施策の方向性
1 スポーツによる 地域振興	①都城市スポーツコミッション(MSC)を中心とした地域活力を創出します	・MSCを中心とした地域活力の創出、収益を生むスポーツを通じた新たなマーケットへの展開・支援に取り組みます。
	②スポーツキャンプ・合宿、スポーツ大会等の誘致を強力に推進します	・スポーツ拠点施設の特徴・強みを生かしたスポーツキャンプ・合宿、スポーツ大会等の誘致を強力に推進するとともに、プロスポーツキャンプ・イベントの魅力発信、観戦環境の整備に取り組みます。
	③スポーツツーリズムによる地域活性化を図ります	・スポーツツーリズムの理解促進及び本市資源を活かした新たなコンテンツの開発に向けた推進体制の構築を図ります。
2 スポーツを 日常の感覚に	①多様な主体が参画できるスポーツ機会の創出に取り組みます	・誰もが、どこでも、いつでも運動・スポーツを楽しめるよう、様々な取組を実施します。
	②スポーツによる健康増進を推進します	・健康都市を目指した市民総スポーツによるまちづくりを推進します。
3 生涯スポーツの 振興	①ライフステージに応じたスポーツ機会の充実に取り組みます	・幼児・児童期においては、健全な成長を促すため、運動のきっかけづくりと運動習慣の定着を目指します。 ・青少年期においては、運動・スポーツ機会の創出・継続のための「場づくり」への取組を推進します。 ・成年期においては、多様なライフスタイルに合わせたスポーツ習慣化に向けた取組を推進します。 ・高齢期においては、スポーツによるエイジレスライフへの取組を推進します。
	②地域スポーツの活性化を図ります	・スポーツで地域を元気にする総合型地域スポーツクラブの育成に取り組みます。 ・スポーツ推進委員活動の理解・促進、地域住民へのスポーツ機会の創出を図ります。 ・まちづくり協議会、各地区体育協会・スポーツ協会によるスポーツを活かした地域課題の解決を検討します。
	③障がい者スポーツの理解・促進を推進します	・障がい者スポーツへの理解を高め、触れる機会の創出を図ります。
4 競技スポーツの 推進	①競技力の向上に取り組みます	・国スポ大会等に向けて、MSCや都城市スポーツ協会、学校等教育機関及び競技団体、地域との連携による戦略的な競技力向上を推進します。
	②スポーツ指導者の育成に取り組みます	・指導者・審判員の養成や安全教育等の研修機会の更なる充実を図り、キャリア形成やモチベーションアップの支援に取り組みます。
5 スポーツのための 環境整備	①スポーツ環境の整備に取り組みます	・公共スポーツ施設の計画的な改修・更新に取り組みます。 ・誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の更なる充実に取り組みます。
	②スポーツを支える人材の育成・拡充を図ります	・スポーツの推進に不可欠な「支える」人材の育成・拡充に取り組みます。

●MSCのロゴ及びキャッチコピー



1. 進捗管理

本計画においては、基本目標に掲げる数値目標や各KPIの達成状況等を考慮しながら、毎年度PDCAサイクルによる効果検証を行います。

また、各年度の効果検証を踏まえ、必要に応じて施策や事業の追加・見直し等を行います。

2. 検証体制

本計画に掲げる事業の効果検証に際しては、庁内推

進体制のほか、小中学校、スポーツ関係団体、企業及び各種民主団体、有識者及び行政機関で構成する「都城市スポーツ推進審議会」による定期的な点検・検証を行います。

3. ロードマップ

本計画を推進する上で、特に重視すべき「基本目標1 スポーツによる地域振興」及び「基本目標2 スポーツを日常の感覚に」については、ロードマップを明示し取り組みます。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
施設管理の 状況			都城運動公園屋内競技場・附属設備供用開始		
			(仮称)新宮崎県陸上競技場供用開始		
国スポ大会・ 障スポ大会				国スポプレ大会	国スポ大会
スポーツ による 地域振興	【組織強化】 ・MSCの取組発信、組織強化支援				
	【指定管理】 ・MSCの適切な施設管理に対する支援				
	【スポーツキャンプ誘致】 ・プロスポーツを中心とした誘致活動の展開 【大会誘致】・バスケットボール・バレーボール等大会の誘致			【スポーツキャンプ誘致】 ・都城：プロ野球1軍、テニス ・山之口：サッカー、ラグビー、陸上 【イベント・大会】 ・施設活用を見込んだイベント等の誘致	
	・合宿地としてのブランディング、MSCと両輪となった質の高い合宿サービスの提供、キャンプ支援体制の構築				
	・プロスポーツや地元出身アスリート、合宿チームとの交流の場の創出				
	【アウトター事業】 ・地域資源を活かしたスポーツツーリズムや、合宿参加者の延泊施策研究		【アウトター事業】 ・スポーツツーリズムのモデル的实施 ・稼げるスポーツコンテンツの開発		
	・フルマラソン等大会の調査研究				
スポーツを 日常の 感覚に	スポーツの意義の喚起				
	スポーツ実施率 向上の調査研究	取組の実施			
	総合型地域スポーツクラブや地元企業と連携したスポーツ実施率向上の取組				
	ニュースポーツの推進				

スポーツで築く 地域活力創造計画

概要版



都城市商工観光部スポーツ政策課

〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号
TEL: 0986-23-9546 (直通) FAX: 0986-23-6365
E-mail: sports@city.miyakonojo.miyazaki.jp